



REPT

新 NPO 法人 エネルギーを すすめる宝塚の会

No. 23

2017年6月9日発行

理事長：中川慶子

〒665-0875

宝塚市中筋山手 3-2-10

(TEL/FAX0797-88-1381)

<http://rept.or.jp>

第6回通常総会にご参加くださったみなさま、ありがとうございました！

5月21日（日）13時半より宝塚市立東公民館で開催した REPT 第6回通常総会は、正会員数 112 名のうち、出席者数 66 名（内委任状 38 名）で成立しました。当日は神戸、大阪で大きなアクションがあったにもかかわらずご参加くださったみなさまには厚く御礼申し上げます。また、委任状提出や出席のご連絡をいただきましてありがとうございました。

今年は役員改選もなく、2016 年度の事業報告・会計報告・会計監査報告、今年度の事業計画・予算案が滞りなく承認可決されました。

中川市政が 3 期目に入った今年度の重点目標としては、地球温暖化防止、原発のない社会をめざして宝塚市でどのような省エネ・創エネ政策が可能なのかを探求して、積極的に市に提言を行いつつ市と市民との協働を実現していきたいと、運営委員・理事一同張り切っています。みなさま、なお一層のご協力ご支援をお願いいたします。

ワンクリック募金 <http://gooddo.jp/gd/group/rept> もどうぞよろしく！

（なかがわ）

映画『日本と再生—光と風のギガワット作戦』上映会

総会に引き続き、映画『日本と再生—光と風のギガワット作戦』の上映会を行った。午後からの 2 回上映でのべ 104 名がこの映画を鑑賞した。私は 2 回目の上映を見たのだが、1 回目の上映を見終わった人が、「とてもよかった。この映画を自分たちも上映してみたいのでチラシを下さい」と、受付の私に明るく問い合わせてくれた時、ああ、この映画は希望の映画だなと思った。弁護士である河合弘之氏が、日本の原子力行政の実態を暴き、原発問題の全てがわかるように作ったドキュメンタリー映画「日本と原発」。これができたのが 2014 年、そのわずか 2 年後の 2016 年、世界の再生可能エネルギーの実情を知るために、環境学者飯田哲也氏と共に、各国を訪れ、その可能性を自身の目で確かめ、それを映像にまとめたのが、この『日本と再生—光と風のギガワット作戦』の映画だ。

前回の映画で原発の問題は分かったが、では電気はどうすればいいのかと問われたことがこの映画を作るきっかけになったと河合氏は述べているが、その答えを実に明快に実例を挙げて示していた。よく言われる再生可能エネルギーは不安定という意見もスマート・グリッド（次世代送電網）と IoT（Internet of Things モノのインターネット）の活用でエネルギーの調整が可能と聞いた時、ああ、今、よく宣伝されているスマホを使って、外から家のエアコンを付ける、こんなことができる時代なんだから、なるほど可能だと納得がいった。この文章を書くに当たってこの映画の HP を見たところ、*Japan Times* が特集とあり、興味深い記事があったので引用する。「映画全体に流れる重要なテーマは、

先進工業社会である日本が、エネルギー自給に関しては先進工業国に後れをとっていることである。エイモリー・ロビンスが河合に伝えているように、再生可能エネルギー源を豊富にもつ日本が再生可能技術の最前線にいないのは奇妙である。またドイツの科学者は、日本にはドイツの再生可能能力の9倍の能力があると推定できると言う。」

映画の中で、各国の再生可能エネルギーの事業者へインタビューがなされていたが、ドイツも中国も福島事故を見て、原発の時代ではないと切り替えたと答えているのに、当事者である日本が原発の再稼働を進めているのは、一体なんという国なんだと情けなくなった。あれだけの事故を経験してもなお、原子カムラが存在している日本。映画の中で、河合氏は再生可能エネルギーは儲かるという説明も明快にしていた。それでもなお原発に固執するのは、原子カムラと政府の癒着と核兵器への速やかな転用をするため？と政府の方針に腹が立つばかりだ。

映画では宝塚すみれ発電の井上保子さんも登場する（短くて残念だったが）。宝塚市長の中川智子さんも出ている。日本各地で再生可能エネルギーを使って地産地消のエネルギーを作っている元気な人たちが沢山出てくる。また、熊本地震で実証されたことがある。飯田哲也氏はこう言う。「地震後のヒアリングでは、大きな被害を受けた南阿蘇村でも、ソーラーパネルと蓄電用バッテリーを持つ家庭は、電力を自給できていた。停電もなく、炊飯器のような電力をたくさん使う家電製品も使用できていた。今後は、災害対策の観点からも、小規模分散型の発電を支援する政策が必要だ。」

太陽光、風力、波力、地熱、バイオマス、これに加えて節電という工夫をする。福島事故以後、原発が一基も動かなくても私たちの生活は成り立っていたのに、再稼働が始まり、関電は電気代を下げると言う姑息さ。大切なことは、政府がどんな国にしたいか、方向づけをどうするかなのだ。この映画を原発推進派に見せて、どんな反論ができるかを聞いてみたいものだ。（辰野純子）

花と緑のフェスティバル

春恒例の市主催『花と緑のフェスティバル』が4月22・23日に開かれました。会場は末広中央公園。来場者にはお花の苗が配られます。よいお天気に恵まれ、多くの家族連れがステージやいろいろな展示、植木市や八百屋さんや屋台店を楽しんでおられました。

「NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会」も「エコプロフィット宝塚」のメンバーの協力を得てブース参加。2台の発電自転車でシャボン玉飛ばしと電球の点灯にチャレンジしてもらいました。小さな子ども同士では一所懸命にペダルをこいでもなかなかシャボン玉が飛ばず、お父さんお母さんが頑張って「やった〜」の声が聞けました。時々「いや〜 ちょっと無理です」という保護者がいらっしやると、やむ無くスタッフがサドルに。何回もの助っ人が平気なメンバーもいますが、私は数回こいだけで、「この自転車、前より発電効率が下がってるんじゃない？」と足が攣りそうに。実は体力が落ちているだけなのですが。4月とはいえみんな結構汗をかきました。



もちろん自転車発電の後で、「電気作りは大変だったでしょう！ 節電や省エネしてね」とアピール。市民発電所や、ポータブル・ソーラーパネルやソーラー・ランタンなど再生グッズの紹介も。防災面での活用も説明しました。TVや広報で見たと言われる方もあり、少しずつですが私たちの活動に市民の目が向いてきているのは、嬉しいことでした。（たなか）

尼崎青空学校

5/20 ～エコプロフィット宝塚のメンバーと共に～

どこからか噂を聞きつけて、尼崎の少年団（規模のデカイ子ども会：小学生から中学生がグループを作って、OB・OGのお兄さんお姉さんがリーダー役をしています）から、今年の青空学校では「環境」をテーマにしたいので出前に来てほしいと依頼がありました。

当日はまず、リーダーたちによる寸劇『もったいない王国訪問記』の上演。エコちゃんが電気の無駄遣いをしている「もったいない大国」に行き、王様と「もったいない」を見つけて電気や水を大切にしよう国民に呼びかけるお話。「エコプロフィット宝塚」の代表さん作です。途中で子ども達にクイズが出されます。お兄さんお姉さん達は衣装を手作りして頑張りました。

その後で、「地球温暖化防止のため、節電や省エネをして、再生可能エネルギーに切りかえていきましょう」という話をしました。子ども達にまず温暖化防止の対策が必要だということを読んでもらい、それが保護者にも伝わるよう「おうちの人と話し合ってください」と付け加えて。本来は温暖化に責任がある大人がもっと自覚的になるべきなんですがね。

午後は、おナベに玉子を入れてソーラークッカーを太陽がサンサンと照る方へ向けました。そして、子ども達は自転車発電と手回し発電体験。手回し発電は白熱球とLED電球の点灯にどれくらいの差があるかがよ～くわかるようになっていて、子ども達は何度もやってみて「ホントだ！LEDを点けるのは簡単！軽～い」と実感していました。電気を作ってみて後で、玉子がどうなっているか確かめました。太陽はしっかりと固ゆで玉子を作ってくれていたのです。「やるね！ やっぱ自然の力ってすごい！」と思ったよね、みんな！（たなか）

今年もさつまいもの植え付けをしました！

～ソーラーシェアリング市民農園～

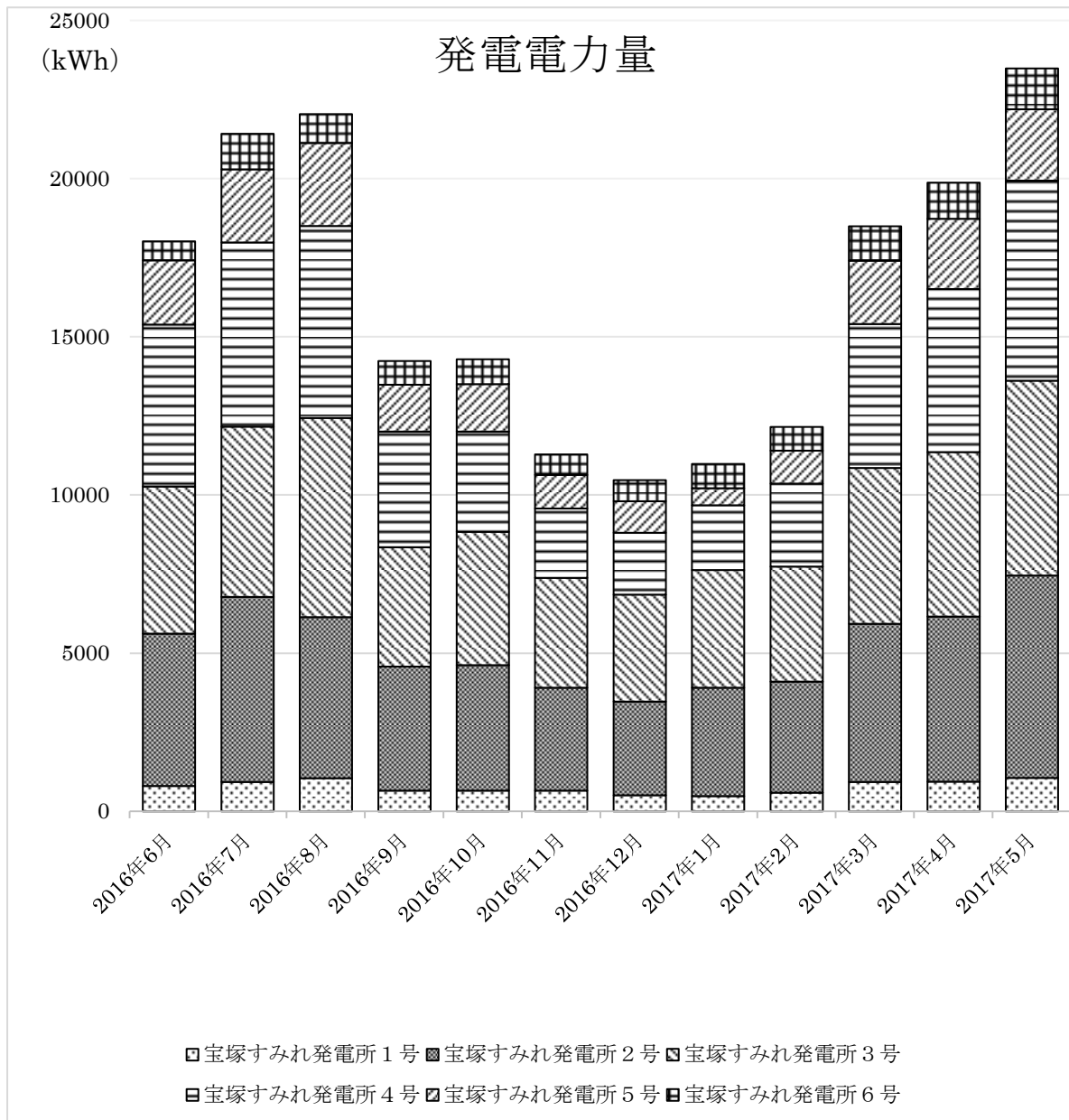
昨年に引き続き、5月5日にソーラーシェアリング市民農園（宝塚すみれ発電所4号）で、さつまいもの植え付けを行いました。今年の品種は「クイックスイート」「隼人」「パープルスイートロード」です。昨年も作ってたくさん採れたパープルスイートは、安定収量が見込めそうなので今年も期待しています。クイックスイートは電子レンジでもおいしく焼き芋が作れるそうです。そして、初めて干し芋に挑戦！隼人の果肉はオレンジで、干し芋に適した品種だそうです。

それぞれ50本ずつ植えたさつまいも。植えたあとに日を置いてうまく雨が降りましたので、その後見に行ったときもきちんと苗が活着していて一安心です。初めて苗の植え付けを行なったメンバーは、とても楽しくて他の人に自慢したら来れなかった人が悔しかったとか。

楽しむことが大前提の市民農園です。秋の収穫時には始めての方もぜひご参加ください。参加費は無料です。今年は五月の天気が安定し、ソーラーシェアリングもたくさん発電しました。電気も食べものも作れるソーラーシェアリング、近頃は見学に来られる方が増えました。共同購入組織の方からも、組合員さんたちと見学に行きたいと声をかけられています。



兵庫県内で徐々に増えつつあるソーラーシェアリングですが、もっと増やしていくためにはこういった組織が生産者と共同事業として行なうのが良いのではないかと提案しています。（株）宝塚すみれ発電 井上保子



会費の納入ありがとうございました！

市民が声を上げなければならない事態が起こりすぎる昨今は、会費やカンパなど物入りなことです。未納入の方、どうぞ太っ腹で会費納入をお願いいたします。

00940-6-328299 NPO 法人新エネルギーをすすめる宝塚の会



☆ 第 25 回地球環境市民講座 <http://www.bnet.jp/casa/2/51.html>

会場：第 1、2、4 回はドーンセンター 大阪市中央区大手前 1-3-49

主催：CASA、自然エネルギー市民の会、全大阪消費者団体連絡会

第 1 回 「パリ協定」ってなに？ 6月17日（土）13：30-16：30

第 2 回 EU・トランプ政権そして日本 7月 8日（土）13：30-16：30

第 3 回 企業の環境保全の取組見学 7月22日（土）14：00-16：30

第 4 回 企業の温暖化防止の取組み 7月29日（土）13：30-16：30